

平成17年度 当初予算

一般会計・特別会計予算総額
一八六億一、六〇六万六千円

今年度の財政見通しは、歳入の根幹をなす町税収入は税制改正等により若干の増加は見込まれる一方、個人所得の減収や土地の下落等により、依然として厳しい状況は続くものと思われます。

また、国が進められている地方税財政制度改革、いわゆる「三位一体改革」として交付税の見直し、国庫補助負担金の削減、地方への税源移譲が三点セットで論じられている中、地方交付税については引き続き不交付となることが見込まれています。更に国庫補助負担金においては、国の改革による削減により財源が一般化される見込みとなっており、歳入を取り巻く環境は、極めて厳しい状況にあります。

一方、歳出については、扶助費、公債費などの義務的経費や特別会計への繰出金の増加が見込まれるほか、政策経費についても増加が見込まれます。

このような行財政環境の下で、国や県の行財政制度の動向や長期的な視点に立った財政運営に心がけ、財源の確保を図るとともに行政サービス等の効率化及び質の向上を目指し、福祉、環境、教育、防災等の各分野にわたり、町民生活に深く関わりのある喫緊な課題に対応すべく重点的かつ効率的に予算を配分しました。

(単位：千円)

会 計 名		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸率(%)
一 般 会 計		9,725,000	9,818,800	△93,800	△1.0
特 別 会 計	国民健康保険	2,679,392	2,542,523	136,869	5.4
	老人保健医療	2,580,762	2,722,319	△141,557	△5.2
	介護保険	1,683,910	1,572,626	111,284	7.1
	下水道事業	1,947,002	2,263,415	△316,413	△14.0
	小 計	8,891,066	9,100,883	△209,817	△2.3
合 計		18,616,066	18,919,683	△303,617	△1.6

一般会計

一般会計予算額は、前年度比一・〇割減の九七億二、五〇〇万円となりました。

歳入のうち、町税は、個人所得の減収等に伴い、前年度比〇・一割減の五億三、八〇〇万円です。

国庫支出金は、社会福祉費負担金、社会福祉費補助金等が増額となったものの、清掃費補助金、社会教育費補助金、消防費補助金等が減額により、前年度より四、六五二万一千円の減額です。

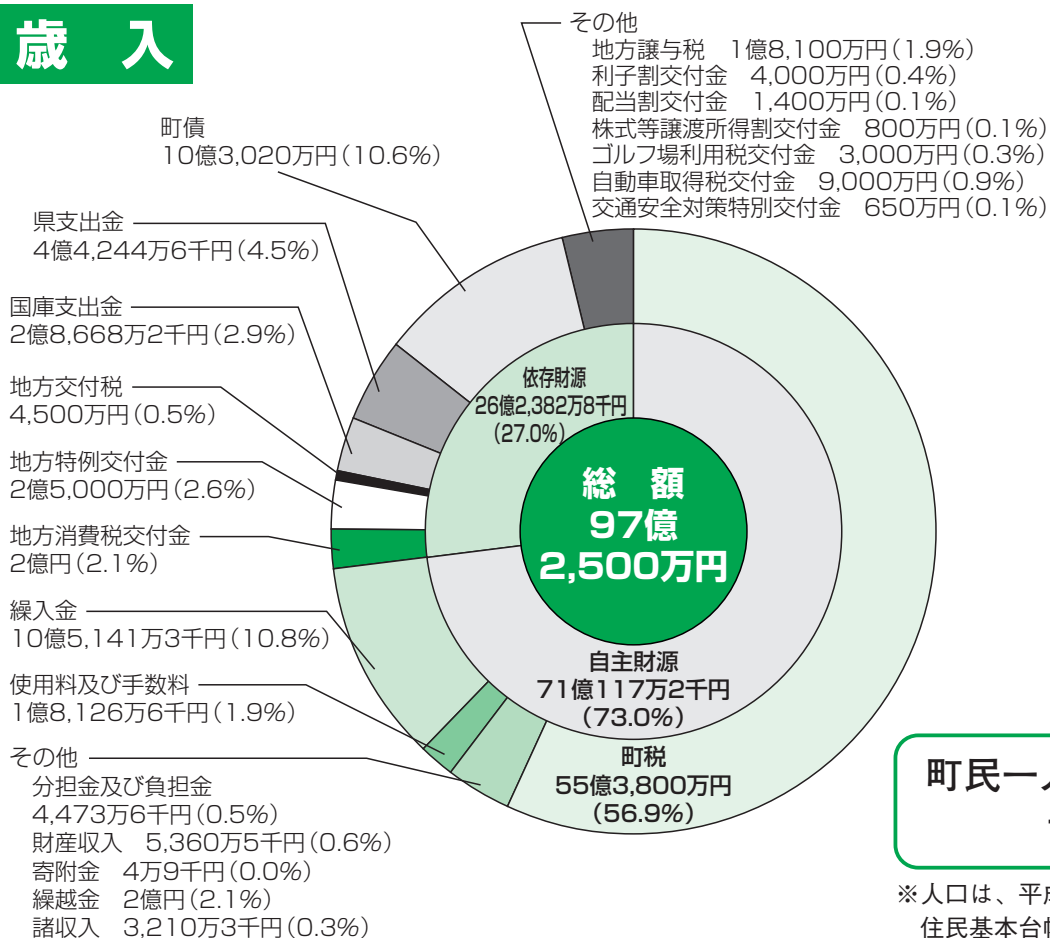
県支出金は、選挙費委託金、商工費補助金、社会福祉費補助金等が減額したものの、社会福祉費負担金、水産業費補助金、統計調査費委託金等の増額により、前年度より一、〇四七万一千円の増額です。

歳出は、普通建設事業費が前年度比六九・三割増の十一億一、七三一万四



歳入

特集

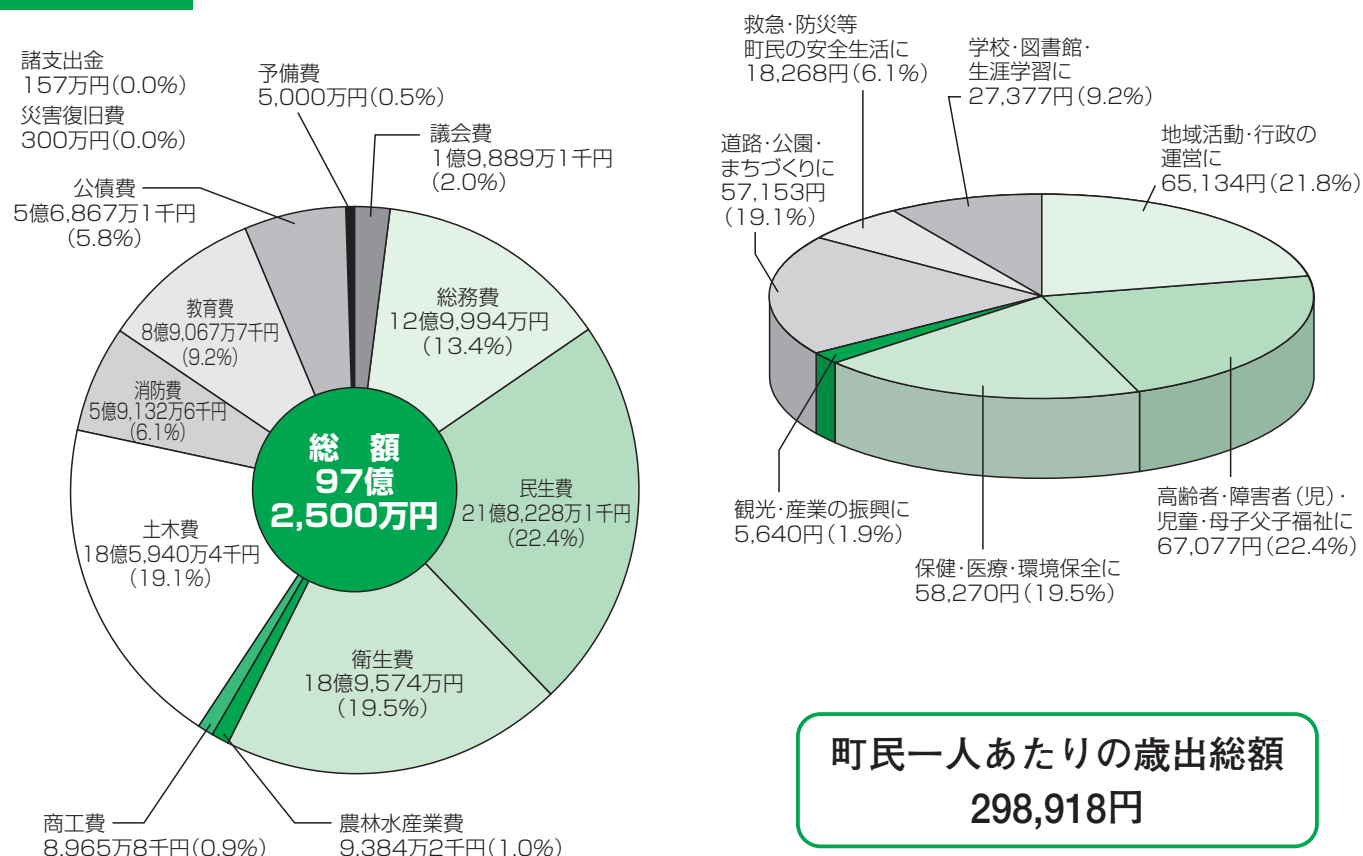


千円となったものの、公債費を四七・七割減の五億六、八六七万一千円に、物件費は前年度比四・六割減の二億八二万七千円、補助費等は前年度比二・六割減の四億五、五一〇万一千円となるなど、節減抑制に努めました。

**町民一人あたりの町税額
170,222円**

※人口は、平成17年1月1日現在
住民基本台帳人口 (32,534人)

歳出



**町民一人あたりの歳出総額
298,918円**

主要施策の概要

〔新〕は新規事業（職員給与費・一般事務費は除く）

1 『青い海と緑の丘のある美しいまち』づくり

- 緑豊かな居住環境をつくる 4億5,561万2千円
都市計画推進事業（2,311千円）、〔新〕景観計画関連事業（5千円）、緑化事業（10,205千円）公園管理事業（25,887千円）、南郷上ノ山公園管理事業（51,700千円）
- 環境に配慮したまちをつくる 29億4,867万3千円
環境保全対策事業（495千円）、環境基本計画推進事業（628千円）、鳥獣保護管理対策事業（2,244千円）、ごみ資源化・減量化事業（43,620千円）、ごみ収集事業（95,503千円）、ごみ焼却処理事業（183,461千円）、クリーンセンター維持管理運営事業（180,019千円）、公害防止対策事業（1,565千円）

2 『文化をはぐくむうおい、ふれあいのまち』づくり

- 資源を生かし地域の活性化を図る 1,717万6千円
「くれ竹の郷葉山」推進事業（10,244千円）、非核平和・国際交流事業（2,924千円）、草津町親善交流事業（472千円）
- 豊かな心を創造する 4億8,696万1千円
公民館教室運営事業（4,288千円）、しおさい博物館教育活動及び調査研究事業（1,955千円）、児童生徒就学援助事業（16,925千円）、長柄桜山古墳群調査整備事業（8,946千円）
- 活力ある産業をつくる 1億5,725万1千円
観光施設維持管理事業（24,845千円）、商工活動等支援事業（14,816千円）、〔新〕水田農業構造改革対策事業（80千円）、〔新〕真名瀬漁港再整備事業（48,921千円）、うき・ウキーはやま推進事業（253千円）

3 『安全で安心して暮らせるまち』づくり

- うるおいのある生活と安心して子育てができるまちをつくる 29億5,722万1千円
〔新〕特別養護老人ホーム・介護老人保健施設整備費補助（66,716千円）、在宅老人への生活支援事業（41,141千円）、〔新〕障害者施設指定管理業務推進事業（10,053千円）、施設訓練等支援事業（181,377千円）、小児医療助成事業（32,597千円）、〔新〕災害情報ラジオ給付事業（1,691千円）、児童手当支給事業（98,550千円）、入所児童委託事業（126,831千円）、〔新〕保育園・教育総合センター複合施設整備事業（430,360千円）
- いきいきと誰もが健康に暮らすことのできるまちをつくる 54億258万7千円
健康づくり事業（1,754千円）、成人保健事業（2,137千円）
- 災害に強く安全なまちをつくる 2億436万6千円
消防車両整備事業（19,099千円）、民間木造住宅耐震診断及び耐震補強工事事業（2,322千円）、〔新〕防災行政無線情報伝達補完事業（3,316千円）

4 『住民が参加する自治のまち』づくり

- コミュニティをつくる 1,444万円
町民相談事業（13,767千円）、〔新〕終戦60周年事業（160千円）
- 町民と行政の協力関係をつくる 3,594万8千円
諸証明等宅配サービス事業（850千円）、広報紙発行事業（9,363千円）
- 効率的な行財政運営を図る 1億9,847万7千円
電子自治体基盤整備事業（10,750千円）、企画調整事業（6,317千円）

特別会計

特別会計（四会計）の合計は、八八億九、一〇六万六千円で、前年比二・三割の減額となりました。

国民健康保険

予算額は前年比五・四割増の二六億七、九三九万二千円です。

歳入は、保険給付費の増加に伴う療養給付費等交付金が六・〇割増の五億四、六八七万四千円、高額医療費共同事業負担金の県支出金が二・五割減の一、四八八万九千円です。

歳出は、一般被保険者、退職被保険者等療養給付費と一般被保険者、退職被保険者等高額療養費の伸びによる保険給付費が九・二割増の十七億七、六九三万六千円となるものの老人医療対象年齢の引き上げ等による保険者拠出金の減少により老人保健拠出金が三・七割減の六億二七一万四千円です。

主な内訳は、一般被保険者の療養給付に十億五八二万七千円、退職被保険者等の療養給付に五億五、一二九万一千円、一般被保険者の緊急等の受診・補装具等の費用に一、三四一万円、退職者被保険者等の受診・補装具等の費用に六四三万二千円、一般被保険者の高額療養費超過分に九、七七八万三千円、退職被保険者等の高額療養費超過分に五、七四〇万四千円、被保険者の

出産に一時金を支給するのに一、八〇〇万円、被保険者の葬祭費を支給するのに一、六一〇万円、老人保健医療費に充てる老人保健医療費拠出金に五億九、一二九万八千円、介護保険用に保険者が社会保険診療報酬支払基金へ納付するのに一億六、七七三万円、交付基準額を超える高額医療による財政運営の不安を解消するための高額医療費共同事業医療費拠出金に五、三五五万八千円、三五歳以上の被保険者の人間ドック受診への一部助成に七六〇万円です。被保険者（一三、七〇〇人）一人あたり約十九万五千円になります。

主な内訳は、老人医療受給者の療養費の保険医療機関への給付に二五億四五〇万九千円、老人医療受給者の緊急

老人保健医療

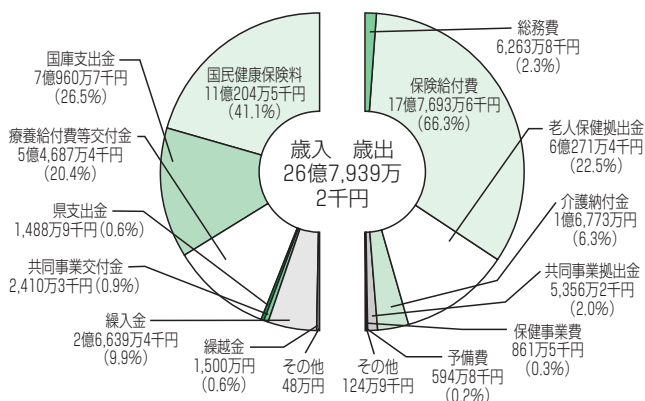
予算額は、前年比五・二割減の二億八、〇七六万二千円です。

歳入は、国庫支出金が六・三割増の六億六、二九三万四千円、県支出金が六・三割増の一億六、五七三万三千円となるものの支払基金交付金が十一・三割減の十五億七、三四七万五千円です。

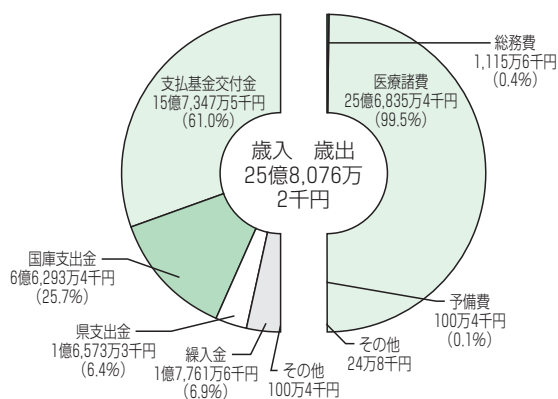
歳出は、総務費が九・七割増の一、一五万六千円となるものの医療給付費等の減に伴い医療諸費が五・二割減の二五億六、八三五万四千円です。

主な内訳は、老人医療受給者の療養費の保険医療機関への給付に二五億四五〇万九千円、老人医療受給者の緊急

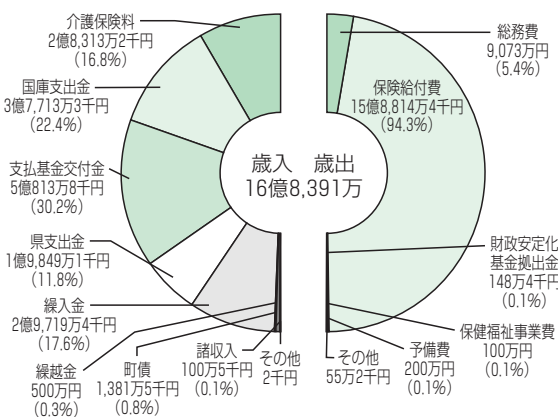
国民健康保険特別会計



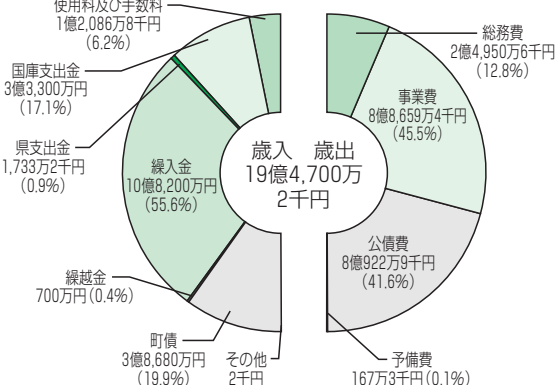
老人保健医療特別会計



介護保険特別会計



下水道事業特別会計



介護保険

予算額は、前年比七・一割増の十六億八、三九一万円です。

歳入は、介護保険料の三・一割増の二億八、三三万二千円、保険給付費の増加に伴う国庫支出金が七・六割増の三億七、七一三万三千円、同じく支払基金交付金が七・〇割増の五億八一

等の受診・補装具等の費用に四、九九八万四千円、医療費の審査・支払に関する費用に一、三八六万一千円です。受給者の見込みとしては、昨年度より三五八人減の四、二九〇人です。

三万八千円、保険給付費の増加に伴う介護給付費負担金の増による県支出金が増の七・〇割増の一億九、八四九万一千円、繰入金が増の二億九、七一九万四千円です。

歳出の総務費については、前年比九・二割増の九、〇七三万円、介護サービス等諸費の増加により保険給付費が増の七・〇割増の十五億八、八一四万四千円です。

主な内訳は、認定審査会で被保険者の審査判定に要する経費に五三一万六千円、要介護認定の申請に伴う認定調査等の一、〇三三万八千円、居宅介護のサービス・支援サービス計画等・福

下水道事業

予算額は、前年比十四・〇割減の九億四、七〇〇万二千円です。

歳入は、供用開始区域の拡大等に伴う下水道使用料の増による使用料及び手数料が八・五割増の一億二、〇八六万八千円、幹線工事完了による整備事業費の減少に伴う国庫支出金が三二・七割減の三億三、三〇〇万円です。

歳出は、整備事業費の減少に伴う事

社用具購入及び施設介護のサービスに十五億七、六八九万四千円、高額介護・支援サービスに七八八万五千円です。

業費が二七・〇割減の八億八、六五九万四千円、償還元金の増、償還利子の減による公債費が二・六割増の八億九、二二万九千円です。

主な内訳は、下水道事業水洗化普及のための啓発、助成に六二七万七千円、排水施設等を維持管理するのに二、〇四五万円、浄化センター・ポンプ場等の管理運営に一億五、五九三万一千円、下水道の整備に八億四、二三五万五千円です。